

企画提出者 海まちLINK

項目	評価内容	評価	コメント
地域性	町の特長や良さを活かし、PRできるような内容となっているか。	4.35	<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々で楽しめるイベントを企画している。新しい発見。 ・既存の出雲崎のイメージ以外のイメージをアピールできる点が良い。 ・提案は「町らしいもの」6割：「町でなくてもあるもの」4割のイメージ。「町でなくてもあるもの」に「町らしい」ストーリーをつけていくと全体的に「町らしい」イベントになるかと。 ・出雲崎町に住んでいるからこそわかる良さを盛り込んでいるように思う。イベントごとに様々なポイントがあるが、1度きりの参加でもしっかり良さが伝わるかどうか。 ・出雲崎産はいいものはたくさんあると思うので、たくさん取り上げてもらいたい。
創造性	目を引くような工夫や新たな試み、話題となるような着想があるかどうか。	3.78	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人まで楽しめる日帰り修学旅行のコンセプトが良い。子供達による商品開発、お店経営、農業の担い手育成。 ・あらゆるテーマを考えているのはいいが、テーマの注目度が少し弱い気がする。 ・次世代の育成、愛着をはぐくむというのは1つの工夫。 ・話題となるために全体的に「町らしい」ストーリーがつけられれば話題になりやすいかと思われる。 ・地元のを食べたり体験したりできるのは新鮮。地元の子供たちは楽しい?? ・子供をターゲットにしている点は評価できる。
実現性	予算やスタッフ数等の見込みに無理がなく、企画されたものを実施できるかどうか。	3.35	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のイベント開催はかなりハードなので、今後も継続するために、イベントの回数を減らしても良いのではないかと。 ・予算やスタッフ数に無理ではないが厳しい部分を感じる。継続実施に負担はあるが、継続して実施いただけると成功に近づくと思う。 ・継続イベントの運営は大変。体制強化が必要かと。 ・毎月異なる企画を行うのはなかなかハイペースで少し厳しいのではないかと。 ・イベントをスタートさせて毎回修正が必要であれば、その都度に見直す機会を設けて継続させていく。 ・組織の充実、規約の制定が絶対条件とする。
安全性	イベント運営に関し、来場者及びスタッフ等の安全性が考慮されているかどうか。	3.78	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策や乗り物利用する場合の安全性の部分が短時間では不明であった。 ・新型コロナウイルスの状況に注意しながら2021年度の開催をできると良いと思う。 ・天候対応、子供対応、自転車の安全走行、感染予防対策など課題。 ・細い道や歩道のない道もあるので、大人数で自転車移動した時に安全であるかどうか気がなる。
感性	単純にこのイベントに魅力を感じるか、行ってみたいと思うかどうか。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの出雲崎町のイメージを越えた視点が多く、初めての方もリピーターの方も楽しめるイベントであると感じ、参加したい。 ・デザインや各回の連続性にこだわってほしい。 ・子供連れ、田舎体験に関心のある層にとどけば響くかと。 ・楽しそうだとは思う。ターゲットが広く、具体的なイメージは少ししにくかった。 ・ツアーの中に人を知るものを入れてほしい。高齢者は博物館と言われているので、その博物館をオープン化させてもらいたい。
合計点数		3.85	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな形であれまずやってみることが大事だと思う（特に初年度であるため）。 ・何もないと諦めている人が多いという課題を踏まえると、企画の段階から町内の色々な人を巻き込みながら実施してほしい。共通の成功体験を積み重ねることで、前向きな雰囲気町内・町民に醸成されると思う。 ・「何もない」→できそうでできなかったのストーリーが見えると響きも違う。 ・交流人口の増加という点でいえば、どう町外者を捕まえてくるかの視点が必要。 ・修学旅行/記憶LINK/できそうでできる/何もなくていい→現状複数のキャッチがある。現提案だと少し見えづらい。 ・東日本大震災で失われたものは、人と方言だと言われている。出雲崎を知るのもこの2つの要素だと思うので、そこに力を入れてほしい。 ・今年度中に各イベントの詳細な実施計画が必要。

※評価は、項目ごとに5点を最高点とし、1点を最低点とした5段階評価とする。